特集

資本効率に加えて投資の総量を増やす経営へ

「成長投資ガイダンス」を読み解く

当局解説

価値創造の拡大を通じた持続的成長に向けて

「成長投資ガイダンス」の概要とポイント

実務解説

事業ごとのEPを認識し意思決定への反映を

「成長投資ガイダンス」を踏まえた企業対応

経済産業省は2026年7月21日に「成長投資ガイダンス～価値創造の拡大を通じた企業の持続的成長に向けて～」を公表した。初代伊藤レポートやCGコードの策定等の影響から「ROE8%」といった効率指標への意識は高まった一方で、事業収益力や賃上げを含む成長投資が欧米に見劣りするといった課題感があった。そこで、本ガイダンスでは、EP（エコノミック・プロフィット）を共通概念とし、企業に事業ポートフォリオの再編の推進や、株主還元とのバランスを取った大胆な成長投資の拡大等を求めている。改訂CGコードと対をなす存在として注目される成長投資ガイダンスを本特集を活用して読み解き、実務対応につなげるための参考にしていただければ幸いである。